



小中連携による一貫教育

全市的な取組として、小学校・中学校の連携を強化するとともに、9年間の一貫した教育をめざしています。



金の卵プロジェクト

子どもたちが一流のアスリートやアーティストなどとふれあえる機会を設け、子どもたちの将来の目標や夢を育みます。



小中学校の耐震化、エアコン・トイレ整備

子どもたちが安全安心で快適に学べるよう、小中学校の耐震化を完了し、教室のエアコン設置や、トイレの洋式化を進めています。

子どもたちを支える「学んでいコウカ」事業

経済面などで支援の必要な家庭の小中高生の学びの場として教室を開校し、地域ボランティアの協力を得て学習支援などを行っています。

まちの未来を担う子どもたちがいきいきと健やかに安心して夢を追えるように、学校、家庭、地域が一体となって環境づくりに取り組んでいます。学校教育では、自ら学び考え、判断して行動する「生きる力」を育むため、児童・生徒が主体的に学ぶことをめざした学習形態「こうか授業術『5箇条』」を授業に取り入れています。ほかにも、中学校入学という新しい環境で生じる「中1ギャップ」解消のために、小中連携・一貫教育を推進しています。また、ICT教育関連整備やエアコン・トイレ整備などにも取り組み、子どもたちが快適に学べる環境を整備しています。



まなびの体験広場

講師役の市民のもとで子どもたちがものづくりや昔遊びなどを体験し、異世代間交流を行います。



ニンニン忍者キャンプ

小中学生がキャンプリーターとともに、野外活動を通じて集団生活や生活体験を重ね自主性や自立性を身につけます。